

# WALKING MAP

～自然の小径～

羽黒でゆっくり、のんびり

野鳥観察ウォーキングコース

約1.5kmコース（標準タイム：約40分）

気楽に歩ける散歩道



休暇村 羽黒

山形県鶴岡市羽黒町手向字羽黒山8

TEL 0235-62-4270

## ⑨ ノリウツギ



樹液で和紙を漉（す）く際の糊に利用したため、この名がつけました。枝先に長さ10～20cmの円錐（えんすい）花序をつくり、多数の小さな両性花と周囲に少数の装飾花をつけます。

## ⑩ オトシブミ

名前は、江戸時代に他人にばれないように手紙を道端に落とし、他人に渡したという「落とし文」から来ています。メスは6月ごろ、ある特定の若葉（コブシ、イタドリ、クロモジなど）を食いちぎり揺りかごを作りますが、一部の種は揺りかごを切り落として、「落とし文」にします。



### ～ウォーキングについて～

- ウォーキングはひとそれぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。
- こまめに水分補給を行きましょう。

## ⑥ 二夜の池

正面に広がっている二夜の池は、この池に映る月は例えようもなく美しく、二晩分月見が楽しめることから名付けられました。秋頃は水面に逆さに立つ杉の木を見ることができま



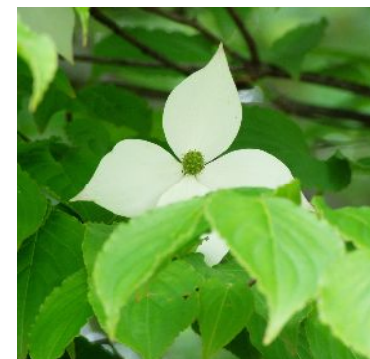
## ⑦ シモツケソウ

和名は下野国（栃木県、北関東）に産したこと由来するという。シモツケソウは関東地方以西の本州から九州まで分布する多年草で、6月下旬から8月にかけて美しい花を咲かせます。



## ⑧ ヤマボウシ

6月中旬より特徴のある花を咲かせて目立ちます。4枚の花弁のように見えるのは総苞であり、その中心に多数の花がつきます。花弁は4枚、雄しべは4本である。和名は山法師であり白い総苞が白いずきんをかぶった山法師を連想することから付けられました。



## ① バリアフリーコースが整備されました

(右地図 約 1.5キロ/所要時間 40分)

休暇村羽黒宿舎脇には二夜の池があり、周囲に散策に適した自然の小径があります。バリアフリー整備がされ、とても歩きやすい一周コースもあります。特に早朝の散策時には野鳥の鳴き声も楽しむことができます。



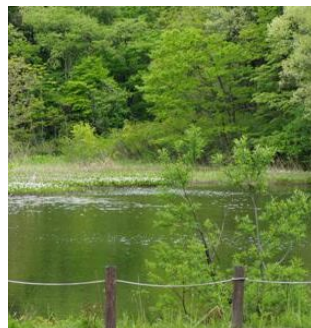
## ② モリアオガエルの卵

4月中旬になるとミズバショウが広く咲きますが、6月になると葉が大きくなり、きれいな白い花びらのように見えていた苞はすっかり見えなくなり、今度は大きな葉の間にモリアオガエルの白色の泡状の卵が見受けられます。カエルの大合唱を聞くことができます。



## ③ ミツガワシワの群生

二夜の池の中央部には、5月下旬から6月中旬頃、ミツガワシワの群生が白い花を咲かせます。秋になるとピンク色のミソハギや水面から伸びたガマの穂先が見られ、四季それぞれ違った景観を楽しむことができます。



# 休暇村 羽黒



## ④ アオサギの巣

日本で最も大きいサギ。体は灰色で飛ぶと風切羽根の黒が目立ちます。湖沼、海岸や干潟、川、水田等で魚やカエルなど捕えて食べます。



## ⑤ ハウチワカエデ

名前は、葉の形を天狗が持つ鳥の羽で作ったうちわにたちえた所から来ています。葉の直径も7~12cmと大きく、うちわに例えられるのももっともだと思わされます。薄黄緑の若葉の間から覗く赤い花が鮮やかに人目をひきます。秋にはうつくしく紅葉します。

